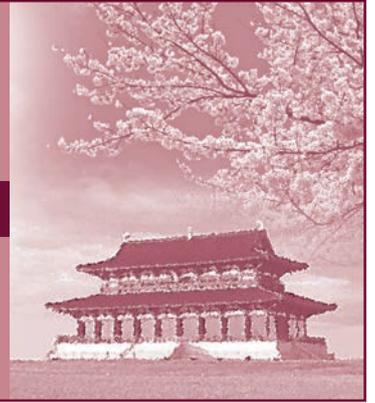


奈良経済産業協会

NARA ECONOMIC AND INDUSTRIAL ASSOCIATION

NEWS

令和4年1月 第56号



謹賀新年



令和4年 年頭のごあいさつ



奈良県知事
荒井 正吾

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

一般社団法人奈良経済産業協会の皆様には、清々しく新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より県政の推進にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、わが国の景気は7月から9月の法人企業景気予測調査（財務省）によると、国内の景況はこれまで下降傾向が続いていたものの、10～12月期には、大企業・中堅企業で上昇に転じる見通しとなっており、企業収益及び設備投資についても同様に、増加する見通しとなっています。また、本県の経済についても、10月判断の奈良県内経済情勢報告（奈良財務事務所）によると、「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」となっています。県では、ワクチン接種進展を踏まえた今後の社会・経済活動再開への取組を進める観点から、「ワクチン接種で安心飲食キャンペーン」「いまなら。キャンペーン」「Go To Eat の再開」を12月1日から行いました。

そうした中、県政の目指すべき姿を「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」こととして、令和3年2月に取りまとめた「奈良新『都』づくり戦略2021」に基づき、その実現のために全力で取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症の拡大を経験した昨今においても、同戦略に盛り込まれた諸施策を着実に実行することこそが地域の自立につながると考えています。

産業面では、“栄える「都」をつくる”として、奈良県経済の好循環を促し、働きやすく、就業し

やすい奈良県づくりに引き続き取り組んでまいります。

企業立地においては、令和2年9月に産業用地の確保が完了した御所インターチェンジ周辺の造成や分譲に向けた取組を進めています。

工場の誘致件数も経済産業省の「工場立地動向調査（確報）」によると、令和2年の立地件数は全国で11位、近畿圏では兵庫県に次いで2位の26件となっています。

また、首都圏での本県の情報発信拠点である「奈良まほろば館」が令和3年8月に移転し、リニューアルオープンいたしました。観光、食、特産品、伝統工芸などの情報を発信し、県の認知度とブランド力の向上を図ることで、今後の観光需要の回復を見据えた首都圏等からの県への誘客、県産品の販路拡大を通じた地域活性化につなげてまいります。

県内企業の研究開発の支援においては、令和2年度に創設した3年間で最大1億円の補助制度を継続し、県内産業の基盤強化と新しい産業の創出に向けた取組を進めてまいります。

雇用面では、新型コロナウイルス感染症発生以来、場所や時間に制約されない柔軟な働き方を広められるようになってきたことから、企業のテレワークやオンライン会議の導入を支援し、ICTを活用した新しい働き方を推進しています。

これからも、奈良を少しでも良くしたいという願いを強く持ちながら、県民の皆様のご意見やご提案に耳を傾け、力を合わせてより良き未来を築きたいと考えています。その中で本県を代表する企業の集まりである貴協会の果たす役割は大変重要となります。地域の知恵・技術の取りまとめ役として、新たな事業機会の創出に挑戦いただくなど、更なるご活躍を期待申し上げますとともに、今後とも奈良県経済発展に向けた重要なパートナーとして県政へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



一般社団法人奈良経済産業協会
会長 林田壽昭

新年あけましておめでとうございます。

本年が皆様方にとりまして、良い一年でありますよう心よりご祈念申し上げます。

昨年は一昨年の年明けから急速に広がった新型コロナウイルス感染拡大の影響は収まることなく続き、約2年間の長期に亘って全世界で大きな影響を及ぼし、我が国日本でも第5波に及んで非常事態宣言やまん延防止等重点措置が多く地域で発出されるに至り、重大な経済危機を迎えました。

その様な中で、延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック」が無観客ながらも無事開催され、開催国として多数のメダルを獲得するなど、コロナ禍で元気を失い落ち込んでいる日本を勇気づけて頂き、あの感動は今でも思い起こされる所です。

昨夏以降第6波が心配されていましたが、ワクチン接種率の向上や国民皆さんが感性防止の取組の継続もあり、昨秋から感染者数が大きく減少し、落ち着きを取り戻しつつあるかと感じます。

これで安心して、気を緩めたらいけません、引き続き注意して感染防止も徹底しながら、GO TOキャンペーンなどを活用して需要を喚起しながら、経済活動も両立させていく段階だと言えます。

昨年の年頭挨拶で、仮に今後コロナが収まったとしても、これまでと同様にコロナ前の旧の常態には戻らないのではないかと申し上げました。

それは自社のビジネスモデルを揺るがし、製品サービスを新常態に合わせていく事業変革が必要となる非常に厳しい状況です。1年が経過して、事業の見直しは如何でしょうか。今一度、ウィズコロナ時代の新しい経営を考えたいと思います。

さて、今回のNHK大河ドラマの主人公である渋沢栄一は「論語と算盤」で、企業経営は適正な経済・利益（算盤）により成り立つものであるが、社会の公器なる企業にも道徳・倫理（論語）が求められることを示しました。

これは、「一見して相反する経済と道徳の2つ」を融合させることであります。

つまり、「論語か算盤」ではなく「論語と算盤」とあるように、「論語か算盤・論語と算盤」の違いは、「or・and」の意味の違いだけではなく、求める企業経営のあり方そのものであると思います。

「or」は、右か左かと物事を選別して進めることで効率性を高められますが、選別するだけでは、無から有は生み出せず新しい創造はできません。

一方「and」は、一見すると矛盾するものを組み合わせようと努力することで、新たな発見が生まれ、思いがけない新しいものを生み出すが出来て、正にイノベーションが起きるのだと言えます。

例えば、業務成果向上と長時間労働削減や、利便性・コストと環境問題等々、現代のビジネスでは矛盾することを両立させていくことが求められ、非常に難しく簡単に答えが出ませんが、その難しい課題を両立させるべく、知恵を出して全員で取り組むことが企業を強くしていくものと考えます。

更に今般の新型コロナウイルス感染拡大など、変動性・不確実性・複雑性・曖昧性が増す先が全く読めない時代に入っており、時に心が折れそうになり、思考停止し立ち止まってしまいがちです。

そんな先が読めない時代だからこそ、新たな組み合わせを探り、新しいものを生み出すよう努力することこそがイノベーションであり、今こそ未来を信じる気持ちを強く持ち、その未来を自ら切り拓いて創出していく積極性が重要と考えます。

渋沢は、「目的には理想が伴わねばならない。その理想を実現するのが人の務めである。」とも言っています。実現するのは当然に“人”です。

当会は、“企業は人なり・人材の活躍なくして企業発展はなし”と考え、生き活きと意欲高く働ける職場作りと共に、自ら考え行動できる人材の確保・育成に注力しており、「理想を実現する」人材の育成に一層取り組んで参りたいと考えます。

本年も微力ながら、奈良県産業の振興・発展に誠心誠意取り組んで参りますので、皆様のご協力ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

経営者懇話会（第2回）

人材育成委員会主催（R03.11.9）

第2回経営者懇話会は、神戸大学大学院経営学研究科経営学専攻 教授 原田 勉様をお迎えし、『OODA（ウーダ）ループ、ポジティブ・デビアンズによる経営改革』をテーマにご講演を頂きました。

講演概要は次の通りです。

「OODA ループはアメリカの軍事戦略家のジョン・ボイルドが発明した先の読めない状況で成果を出すための意思決定方法である。PDCAは、計画に沿って改善を行い生産性を高めるが計画に時間がかかるのに対し、OODA ループは Observe（観察）、Orient（情勢判断）、Decide（意思決定）、Act（行動）を基に、まず現状の観察から始め、判断・分析・実行については、同時に行ったり、時には観察から即実行と柔軟な発想で、環境の変化に迅速に対応できるため、開発や創造的活動、営業現場や臨機応変な対応等の非定型問題解決活動に有効な方法である。また、観察から問題解決するPD（ポジティブデビアンズ）がある。うまくいっていない社内現場の中でポジティブな逸脱者（PD＝成功した例外）を見つけ、そこから問題解決の道筋を見出す方法である。事例として、ベトナムの子供の栄養失調の原因を調べた際に、比較的栄養失調ではない子（PD）について他の子との違いを観察したところ、同食材同量の食事であったが、栄養失調の子の家ではスープの上澄み液を子に注ぎ、PDの家では鍋の底にあるスープの具材も子に与えていた。栄養食の配布という一時的な対策ではなく“観察”することで根本的な問題の解決ができた。目まぐるしく変化し、意思決定のスピードが求められる現在の競争社会の中で、PDCA・OODA ループ・PD手法をうまく活用することで生産効率が高く、自立した現場環境を作っていくことができる。」とお話頂きました。



神戸大学大学院経営学研究科
教授
原田 勉氏



経営者懇話会（第3回）

人材育成委員会主催（R03.12.8）

第3回経営者懇話会は、大阪府東大阪市にあります、田代珈琲(株) 代表取締役社長 田代和弘様をお迎えし、『生き残る経営から勝ち残る経営へ』をテーマにご講演を頂きました。

講演概要は次の通りです。

「父親が、昭和28年に珈琲豆を卸す田代珈琲(株)を設立したが、平成6年に亡くなった際に借金があり、自分が事業を継ぐしかなかった。翌年スターバックスが日本に出店するなど卸事業が苦しくなり小売業に変えた。価格競争で残業が増え、利益は上がりず従業員も次々辞めていった。平成11年ブラジルで高品質のコーヒー豆が集まる、国際的な品評会（カップオブエクセレンス）があり、日本の業界でも検定事業を始めようということになり事業に参加させてもらった。各企業の珈琲知識のトップレベルの人たちの話を聞くことで大変勉強させてもらった。これからは取引量が少ない希少なスペシャルティコーヒー（種子からカップに至るまでの総ての段階において、一貫した体制・工程で品質向上策、品質管理が徹底している豆）専門店としていくことに決め、まず珈琲がどう美味しいのかどのくらい美味しいのかを判断する勉強を必死で学び、カップオブエクセレンス国際審査員として認められるようになった。自分がこれだと納得できる豆を直接買い付けできるようになり、念願だった百貨店に出店もできた。良い珈琲豆を扱うためには、従業員も高い知識が必要になってくる。自身でどんどん成長していける人材が必要であり、採用に関しては、基準を上げて自社に限りなくマッチする人が応募するように広報している。平等な労働時間、公平な評価、労働基準法遵守の職場で、働き甲斐、やりがいを持って働ける職場づくりに取組んでいる。」とお話頂きました。



田代珈琲(株)
代表取締役
田代和弘氏



【会社を成長させる人事管理】
時代に合った採用・定着支援セミナー

人材育成委員会主催 (R03.10.26)



SAP
代表
松本 治 氏

新規学卒者採用では、若年層の傾向を踏まえ、採用後の育成を見越した採用活動であるよう、内定辞退の防止や入社後に定着・活躍してもらうため、採用プロセスを今一度見直すことを目的に、「時代に合った採用・定着支援セミナー」を開催しました。

実施においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、三密を避けながらマスク着用・換気徹底等を行い実施しました。

講師は、当会の新入社員や管理者の人材育成や人事管理・採用活動の支援でご指導を頂いていますSAP 代表 松本 治 様にお願ひしました。

現代の若年者の就業意識を把握することが最も大切で、自身の成長やワークスタイルを重視する現状を踏まえた対応が重要とご解説頂きました。

特に採用活動においては、これまでの常識（アンコンシャスバイアス・無意識の思い込み）を是正して、早期の戦力化を図りながら、やる気を高めて定着を向上させていく、これらを両立させる採用活動が必要となる。

そのためには採用基準と育成指針を明確にし、採用と育成を繋げる仕掛け作りや、これまでの面接などの採用選考過程を今一度見直すことの必要性について事例を挙げて、ご指導を頂きました。

会社にとってどんな人材が必要かを明確にし、そのために入社後の戦力化や育成を想定した実践的な選考・採用を行いながら、入社後にどう育成していくのかをしっかりと方針をもっていくことが大切であると言えます。

現在の若年者も「成長」と「貢献」を意識していることから、現在の自社の取組を振り返り、より良い採用や育成に向けて考えるよい機会となりました。



【会社を成長させる人事管理】
人材育成・仕組み作りセミナー

人材育成委員会主催 (R03.11.11)



SAP
代表
松本 治 氏

組織の価値を創造していく人材の育成に向けて、育成の仕組み作りを見直すべく、「人材育成・仕組み作りセミナー」を開催しました。

実施においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、三密を避けながらマスク着用・換気徹底等を行い実施しました。

講師は、当会の新入社員や管理者・リーダーの研修や採用活動の支援等でご指導を頂いていますSAP 代表 松本 治 様にお願ひしました。

なぜ・何のために人材育成が必要なのを考える上で、自社の経営戦略から“あるべき組織像”を描き、それを遂行する人材戦略に基づいて、“あるべき人材像”を明確にし、必要となる「スキル」「能力」を定めて、“教育計画”を立てて教育訓練を継続的に実施する重要性をご指導頂きました。

成果に前向きに仕事する組織とするためには、人と組織を活性化していくためのマネジメントが求められ、チームビルディングによって業務へのモチベーションを高めて、成長していくマインドセットへつなげることが大切となってきます。

人材育成計画の立案においては、何年か先の組織をイメージし、それを実現するために必要な人材と、それを育成する施策や活躍を促す制度構築を併せて考えることが必要となります。

育成においては、ティーチングで知識を習得・理解させて職務につかせ、トレーニングで職務の知識・スキルを深めながら、コーチングで相手に合わせながらやる気を引き出し、自発的に取り組むように指導していく流れをご解説頂きました。

当会としましても継続して、会員企業の人材育成の仕組み作りや教育計画の充実に幅広く体系的に取り組んで参りたいと考えています



IE手法を活用した現場改善の進め方

人材育成委員会主催 (R03. 11. 12)

日々の仕事や作業の中にある課題等について、その課題を見つけ、解決していく方法やコツを、具体的な事例やユニークなグループ演習を通して実践的に学ぶべく、「IE手法を活用した現場改善の進め方」を開催しました。

研修は、新型コロナウイルス感染防止に向け、三密を避けながら、マスク着用・換気・消毒・アクリル板使用等により安全を徹底し実施致しました。

講師は、コーニングジャパン(株)シニア PEx エンジニアで、同社のIE手法を活用した改善活動の中心としてご活躍の納谷栄治様にご指導頂きました。

IE手法とは、仕事における各工程・作業・動作に潜むムダ・ムリ・ムラを洗い出して削減することで、仕事の価値を高めていく改善手法です。

改善を進める上で、5S改善特に整理と整頓をセットで実践すると共に、QCDのマネジメントサークルを確立させて、現場の見える化を図り、現場コミュニケーションを向上させる重要を、多数の事例を上げながらご解説を頂きました。

製品工程分析や要素作業分析の基本や、工程・作業を「作業」「検査」「移動」「手持ち」等に分類した記号で図表化し、作業の流れを総体的に捉え、改善の手掛かりにする分析手法を学びました。

グループ演習では、弁当の盛り付け作業を例に、作業手順やモノの配置、作業者の移動等の「人・設備・材料・方法」の観点から作業時間の短縮を図る為の最適な作業手順を見つけ出し、その結果の評価を行い、その成果をまとめて標準化するという一連の流れを実践的に学びました。

IE手法により、日頃行っている作業を今一度詳しく分析し、隠れた課題を見つけ改善していくことの重要性を学ぶ良い機会となりました。



コーニングジャパン(株)
シニア PEx エンジニア
納谷栄治氏

目標管理&人事考課研修

人材育成委員会主催 (R03. 11. 17)

管理者・リーダーの役割の中で、部下の能力を引出して目標達成に導き、その結果を正しく考課して次に繋げていくことが大変重要となるため、目標設定・プロセス管理と納得性ある考課を学ぶべく、「目標管理&人事考課研修」を開催しました。

実施においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、三密を避けながらマスク着用・換気徹底等を行い実施しました。

講師は、職務基準・職務給制度の泰斗として、多くの企業・団体等で制度導入のご支援を行ってられます(株)メディン 代表経営コンサルタント西村 聡 様におられました。

管理・監督者におけるマネジメントツールとしての目標管理の機能と目標設定の基本と方法を学びました。特に業務プロセスを洗い出して、それぞれの業務に、目標と成果指標を定め、現状値と目標値のギャップからどうしていくべきかを考え、組織目標と個人目標をつなぎながら、アウトプットを見据えた管理と運用が大切となります。

また、人事考課自体の理解と共に、考課者として考課する上で、必要な考え方や考課要素の内容や定義を理解するために、事例をもとにご解説頂きました。目標を管理し、その結果を考課につなぐために、しっかりとフィードバックすることが大変重要となります。そのため考課者訓練として、例題の状況をもとに、どの様に考課し、どのような点に気をつけてフィードバックするか等を自らが考えて、グループで討議し、実際の指導の場面を想定して実践的に取り組みました。

同一労働同一賃金への対応を含め、今後ジョブ型の人事管理の重要性が高まる中、管理と評価に関する統合的な事業を継続して実施して参ります。



(株)メディン
代表経営コンサルタント
西村 聡 氏



大学・企業懇談会

人材育成委員会主催 (R03.11.29)

企業の人事担当者と大学の進路指導担当者との理解と交流を深め、今後の人材確保に役立てるために「大学・企業懇談会」を開催致しました。

企業側・大学側からの採用・就職活動の満足度に関する事前アンケート調査結果を報告した後、(株)マイナビ 就職情報事業本部 課長 福田菜月様から「22年卒の就職・採用状況と23年卒の採用展望」についてご報告頂きました。

「今年はコロナショックの影響で、全国に比べて関西圏では新規求人数が低調となっており、関西では奈良が最も低い。また、コロナ禍でウェブ選考が主流となり、内定まで企業担当者と一度も会えず、内定承諾の保留を希望する学生数も増えている。最終面接も、6割以上の学生が対面式で希望していることが現状である。

次年度は、『WEB』と『対面』の使い分けをする企業が多いと思われるが、入社までに、働く場所や仕事内容の『理解と同意』を通じて、不安を払拭することが必要である。」との解説を頂きました。

その後の意見交換・個別情報交流では、昨年は感染防止対策のために、簡単な自己紹介と連絡先リストの共有をメインに意見交換を行いました。今年は、より情報交流を深めたいとの声を受けて、企業・大学双方のPR用案内パンフレットを提供すると共に、万全な感染予防対策を行いながら、企業が合同面接会のように大学ブースに順番にまわることで、全企業と全大学が話し合える場を設ける形式で実施しました。

短い時間でありましたが、それぞれが発信したい内容や聞きたい情報を交流されており、これまで以上にしっかりと意見交換や情報交流を深めることができる貴重な機会となりました。



(株)マイナビ
就職情報事業本部
福田菜月氏



職場改善活動研修会 (活用編)

人材育成委員会主催 (R03.12.7)

職場改善活動を進める上で、考え方や具体的な活動の進め方、QC手法の活用方法を学ぶべく、6月に開催した基礎編に引き続き、「職場改善活動研修会 (活用編)」を開催致しました。

講師には、改善事例発表会でご指導いただいておりますQCサークル近畿支部 大阪・近畿南地区顧問の北野邦弘様をお願いしました。

主な研修内容として、QC手法(パレート図、特性要因図)の確認、要因の解析や解決手段の検討に役立つ系統図・マトリックス図の解説と演習、問題解決の手順とQC手法の活用方法等、事例を交えて詳しく解説を頂きました。

特に、観察チェックシートを使って、改善の基礎となる「仕事に潜むムリ・ムダ・ムラ」の見つけ方を学ぶなど、製造現場だけでなく、営業・事務・サービス部門でも活用できる有効な手法をご指導いただきました。

実際の現場での改善の進め方にそって、模擬的でユニークな演習を通して課題解決の一連の流れを学びました。

まず、「紙に引いた目標線に向けて、矢を落とす」演習では、目標線に落とすために適切な方法・条件を調整し、結果から効果を確認しながら、目標と現状のギャップをいかに無くすかを考えました。

また、「ゴム鉄砲で的を倒す」演習では、「的を倒す」目的の為に、ゴム鉄砲で的を打った結果のデータを元に、「的が倒れない」を特性にして特性要因図で要因を解析し、更に系統図で対策案の検討を行い、その対策を具体的に実施し、的を倒す目的のために効果的な方法を検討しました。

問題を解決していくプロセスを体験することで、手法の意味や活用方法を理解頂けたと思います。



QCサークル近畿支部
大阪近畿南地区
顧問
北野邦弘氏



令和3年秋の褒章受章おめでとうございます！

秋の褒章に、社会福祉法人恩賜財団 済生会奈良病院 名誉院長 瀬川雅数様が『瑞宝小綬章』を受章され、また、当会前理事 大和信用金庫 理事相談役 郡山 尚 様が旭日双光章を受章されました。

会員ともども、お祝い申し上げます。



瑞宝小綬章受章

社会福祉法人恩賜財団
済生会奈良病院
名誉院長 瀬川雅数様



旭日双光章受章

大和信用金庫
理事 相談役 郡山 尚 様

役職変更等

役職変更

☆株式会社呉竹

西谷 一郎 (代表取締役社長)



西谷 一郎 (会長)

代表者変更

☆共栄社化学株式会社 奈良工場

米田 茂則 (取締役工場長)



乙村 啓 (取締役工場長)

☆株式会社中部トータルサービス

福上 富男 (代表取締役社長)



大橋 章子 (代表取締役社長)

住所変更

☆大和証券株式会社 奈良支店

〒630-8241 奈良市高天町 48-1



〒630-8227 奈良市林小路町 8-1

事務局だより

成果を上げる業務改善研修

生産性向上へ業務のプロセスを見直し、改善の考え方や改善の着眼点、具体的な進め方を学びます。是非、各部署の業務改善・問題解決への人材育成にご活用頂きたくご案内いたします。

尚、新型コロナウイルスの感染状況により、中止させて頂く場合がありますこと、予めご理解をお願い致します。

記

と き：令和4年1月14日（金）・28日（金）

各日とも 9：30～16：30

場 所：奈良県産業振興総合センター

2毛皮革棟研修室

参加費：（全2回）5,500円／人

（消費税・テキスト代含）

昼食は各自ご用意ください。

申込み：12月24日までにお申し込み下さい。

別途、受講票・請求書をお送りさせて頂きます。

採用面接向上セミナー（無料）

現状の就職環境、求職者の就職観を理解し、面接は「お互いに選び・選ばれる」場であることを再認識し、内定辞退防止と面接での対話の関係を整理して、求職者のモチベーションを高めることが重要です。

面接の現場で実践的に使え、採用と育成を繋げていくべく開催します。是非ご活用ください。

記

と き：令和4年2月8日（火）

13：30～16：30

場 所：奈良県産業振興総合センター

2毛皮革棟研修室

参加費：無料

1社～複数名のご参加も結構です。

申込み：2月3日までにお申込下さい。

当日はFAX頂いた申込書を受付にご持参下さい。

決算書の読み方研修 （基礎編・応用編）

会計の基本を理解し、決算書〔貸借対照表（B/S）・損益計算書（P/L）・CF（キャッシュフロー）計算書〕等各諸表の意味や仕組みがどのように関係しあっているのかを基礎編で、原価や資金の流れ・分析を取り入れた応用編に分けてわかりやすく体系的に学びます。

貴社の管理者・リーダーの人材育成に是非ご活用ください。

記

と き：令和4年1月18日（火）

〔基礎編〕 9：00～12：00

〔応用編〕 13：00～16：00

場 所：奈良県産業振興総合センター

1F イベントホール

参加費：基礎編・応用編各講座 5,500円／人

（消費税・テキスト代含）

両方受講される場合は 8,800円／人

申込み：事務局までご連絡願います。

女性リーダー研修

職場の業務遂行において、大きな役割と責任を受け持っている女性社員の方を対象に、成果を導き出すリーダーシップやチームワークの醸成に向けて、標記研修会を実施致します。

部下・後輩を成長させる役割を自覚し、自身も共に成長する姿勢を持つ意味を理解します。

是非、貴社の女性社員の方々の活性化のために、多数のご参加をお待ち致しております。

記

と き：令和4年2月24日（木）

13：00～17：00

場 所：奈良県産業振興総合センター

2F 毛皮革棟研修室

参加費：5,500円／人

（消費税・テキスト代含）

申込み：2月3日までにお申し込み下さい。

別途、受講票・請求書をお送りさせて頂きます。

謹賀新年

三笠産業株式会社

代表取締役会長 林 田 壽 昭

〒635-0817 北葛城郡広陵町寺戸27
TEL(0745)56-5581

株式会社イムラ封筒

取締役会長 井 村 守 宏

〒542-0076 大阪府中央区難波5丁目1-60
なんばスカイオ18階
TEL(06)6586-6121

関西電力送配電株式会社 奈良支社

理事 支社長 谷 原 武

〒630-8131 奈良市大森町48番地
TEL(0742)27-8916

株式会社きんでん 奈良支店

執行役員支店長 安 田 守

〒630-8133 奈良市大安寺6丁目20番8号
TEL(0742)62-8771

三和澱粉工業株式会社

代表取締役会長 森 本 俊 一

〒634-8585 橿原市雲梯町594
TEL(0744)22-5531

大和ハウス工業株式会社 奈良工場

工場長 尾 崎 学

〒630-8453 奈良市西九条町4丁目2-2
TEL(0742)64-1500

DMG森精機株式会社

取締役社長 森 雅 彦

〒639-1183 大和郡山市井戸野町362番地
TEL(0743)53-1121

奈良交通株式会社

取締役社長 森 島 和 洋

〒630-8651 奈良市大宮町1丁目1番25号
TEL(0742)20-3116

株式会社南都銀行

取締役副頭取執行役員 石 田 諭

〒630-8677 奈良市橋本町16番地
TEL(0742)22-1131

以上、9社に協賛広告としてご協力頂きました。

奈良経済産業協会NEWS 第56号

令和4年1月発行
一般社団法人奈良経済産業協会

〒630-8031 奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内
TEL(0742)36-7370 FAX(0742)36-7371
<http://www.nara-eia.or.jp> E-mail : info@nara-eia.or.jp